

令和7年度活動状況および令和8年度活動計画(案)

令和8年1月23日

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会

今年度の活動状況

研究会	項目	第 1 回	第 2 回
企画検討委員会	時期・場所	7月10日（水）WEB開催	12月24日（水）
	議題	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の活動計画（総会、分科会） 新試験研究炉の概要 国等への提言取りまとめの進め方 	<ul style="list-style-type: none"> R7活動状況、総会付議事項、R8活動計画 R7提言事項取りまとめ
分科会	時期・場所	8月4日（月）アオッサ（福井市）〈設立会議〉	分科会毎に開催
	議題	<ul style="list-style-type: none"> 分科会の趣旨、構成、活動計画 国等への提言取りまとめの進め方 分科会別課題と既存研究炉における事例調査 	<ul style="list-style-type: none"> 参加企業の事業内容や新試験研究炉への期待 各分科会からの提言案
	講演	「まず知ろう！中性子の性質とご利益を！ そして創ろう未来のビジョン」 （福井大学 武田特任教授）	
総会	時期・場所	8月25日（月）あいあいプラザ（敦賀市）	1月23日（金）【今回】
	議題	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の活動計画（総会、分科会） 国等への提言取りまとめの進め方 新試験研究炉の検討状況 	<ul style="list-style-type: none"> R7活動状況、R8活動計画 R7提言事項取りまとめ
	講演	「大強度陽子加速器J-PARCでの中性子産業利用」 （茨城大学 小泉教授） 「日華化学における研究開発活動への量子ビーム活用の試みと新試験研究炉への期待」 （日華化学 稲継取締役）	「中性子産業利用の推移と新試験研究炉への期待」 （CROSS 柴山センター長）

分科会の活動状況【報告】

機械・建設

開催実績：10月16日(木)対面会合・福井大学[敦賀]

主な意見：残留応力測定装置や作業エリアの確保、交通アクセス・宿泊施設の確保、
専門家ネットワークの構築、測定企業の設立、地元研究機関との連携強化 など

原子力

開催実績：10月 2日(木)準備会議・福井大学[敦賀]、10月24日(金)準備会議・福井大学[敦賀]
11月25日(火)対面会合・福井大学[敦賀]

主な意見：ホットラボ施設への高性能分析装置の整備、高度分析プラットフォーム構想、
新試験研究炉における照射ニーズ検討、中性子ビームによる残留応力装置の充実 など

繊維・化学

開催実績：10月9日(木)準備会議・福井大学[文京]、11月18日(火)対面会合・アオッサ

主な意見：周辺施設・産学官連携の充実、装置検討TF(京都大学)や中性子産業利用協議会
との意見交換、県による実験装置の保有、サポート体制の充実 など

電気・磁気

開催実績：10月3日(金)個別企業との意見交換会・信越化学、11月25日(火)Web会合

主な意見：技術的支援体制の構築、トライアルユース制度や非公開制度の導入、中性子科学
の啓蒙活動、地元研究機関との連携強化、地元委託分析産業等の育成 など

➡ 各分科会の意見等をもとに提言書案（資料2-1、資料2-2）に取りまとめ

講習会、見学会・体験利用実験の実施状況【報告】

講習会	開催日	参加人数	内 容
企業向け	12/5(金)Web	56名	ふくい新試験研究炉利活用促進研究会について [福井県] 「もんじゅ」サイトの新試験研究炉について [JAEA] 新試験研究炉の実験装置の全体概要について [京都大学]
	12/15(月) 対面・Web	63名	新試験研究炉の実験装置の利用技術および利用事例 [京都大学]
福井大学 (医学部)	1/6(火)対面	94名	敦賀半島に西日本の新たな研究拠点 [福井大学] ホウ素中性子補足療法と試験研究炉の紹介 [名古屋大学]
福井工業大学 (工学部原子力 応用科学科)	11/19(水)対面	9名	放射線によるDNA損傷評価法 [福井大学]
	12/1(月)対面	8名	研究炉で拓く科学技術 [京都大学]
福井県立大学 (経済学部)	10/23(木)対面	34名	日本のエネルギーと原子力のこれから (前半) [京都大学]
	1/27(火)対面	(予定)	日本のエネルギーと原子力のこれから (後半) [京都大学]

見学会・ 利用体験実験	開催日	参加人数	内 容
JRR-3、 J-PARC、 量子ビーム 研究センター	8/27(水) ～8/28(木)	9名	○JRR-3 (研究用原子炉)[茨城県東海村] ・炉室内／ビームホール内の実験装置の見学 ・中性子イメージング装置の体験利用実験 ○J-PARC (大強度陽子加速器施設)[茨城県東海村] ・茨城県／供用／JAEAビームラインの見学 ○量子ビーム研究センター[茨城県東海村] ・ユーザー支援施設(実験準備室、データ解析室)の見学

○企画検討委員会（2回）

- ・ 令和8年度の活動計画（分科会の活動計画・状況・方針、講習会・見学会の内容など）

○分科会（各3回程度）

- ・ 各分野における中性子利用事例の分析、活用策検討ならびにトライアルユースに向けた調整
- ・ 会員のニーズに応じた講演（実験装置検討チームの検討状況、期待される成果 など）

○総会（1回）

- ・ 分科会における議論等をベースに当該年度の提言事項を取りまとめ
- ・ 講演（中性子産業利用事例の紹介、産業界・学術界における新試験研究炉への期待など）

○学生向け講習会（計4回）

- ・ 福井工業大学 2回
- ・ 福井県立大学 1回
- ・ 福井工業高等専門学校 1回

○施設見学会・体験利用実験（年1回）

- ・ JRR-3、J-PARC、量子ビーム研究センターの見学
- ・ JRR-3における体験利用実験

○地元企業等による中性子利用の推進

- ・ 地元企業を対象とした技術課題の聞き取りや、中性子等を活用した解決策提案（随時）
- ・ 地元企業による既存研究炉等の利用に対する補助（上限500千円/件）

(参考) 試験研究炉利用促進準備事業補助金

目的

- ・ 県内の民間企業や研究機関による既存の試験研究炉等の利用を支援
- ・ 中性子ビーム等を利用した研究・開発事業に関する知識・経験を蓄積
- ・ 新試験研究炉の運用開始直後から活発な産業利用が行われる環境を構築

補助対象者

- ・ 県内に本社、研究所、工場その他の製造業に係る研究開発拠点を有する企業または法人であり、かつ「ふくい新試験研究炉利活用促進研究会」の会員であるもの
- ・ 上記を含むグループ（あらかじめグループの代表者を定めておくこと）

補助対象経費

- ・ 既存の試験研究炉や、共用法に規定される加速器施設を利用した、中性子ビームを利用する測定、調査、研究事業に係る施設利用料
- ・ 施設利用にかかる経費（原材料、消耗品、機器・工具の購入・調整・改造等の費用や人件費、技術指導費、特許取得費など）は対象外とする

補助率、補助額

- ・ 補助対象経費の10／10以内
- ・ 1件につき500千円以下

目的

- ・新試験研究炉に関する情報提供、中性子利用に必要な支援体制の構築
- ・地元が必要と考える実験設備や利用促進体制の取りまとめ、国等への提言

事業内容

- ① **新試験研究炉の利活用促進に向けた情報共有、検討**
 - ・既存研究炉等における研究成果や産業利用事例の情報共有、活用策検討 など
- ② **地元企業等による既存研究炉等を活用した中性子利用の推進**
 - ・利用相談窓口の設置、既存研究炉等の利用に対する経費補助、実験サポート など
- ③ **新試験研究炉の整備・施設や利用促進体制に関する提言**
 - ・新試験研究炉本体や実験装置、関連施設、利用促進体制などに関する要望事項を提言として取りまとめ

研究会の構成

研究会総会

活動計画の策定・実施、規約の改定、提言の取りまとめ

企画検討委員会

研究会の運営等の統括

※講習会のプログラムや総会の議題等について検討

分科会

研究会の特定の課題等について検討

※実験装置ごと、産業分野ごと など、必要に応じて立上げ

(参考) 分科会の構成

分科会名称	参加企業数※	主査
機械・建設分科会	5 社	福井大学 附属国際原子力工学研究所 宇埜所長・教授
原子力分科会	7 社	福井大学 附属国際原子力工学研究所 福元教授
繊維・化学分科会	1 3 社	福井大学 工学系部門 平田講師
電気・磁気分科会	7 社	福井大学 工学系部門 浅野教授